

目標に向かって学ぶ毎日 ～利用者に満足される駅を目指して～

株式会社 日本レストランエンタプライズ **峯岸 栄太郎さん** (文化情報学部2004年度卒業)



現在の生活

大学院を出て、(株)日本レストランエンタプライズ (NRE) という、JR東日本の新幹線の車内販売や駅弁の製造・販売、駅構内のレストランなどを運営している会社に就職しました。NREでは車内販売を担当する部署に所属し、東京と仙台の2つの営業所で、実際に列車に乗って販売や内勤、商品管理などの仕事を担当していました。これを約3年半経験しました。

現在はNREから出向という形で、同じJR東日本グループの(株)JR東日本ステーションリテイリングという会社で仕事をしています。出向になってやっと半年が過ぎたところです。

こちらの会社はJRの駅ナカ商業施設の「ecute (エキュート)」を運営している会社です。

私は立川駅にあるecute立川の配属で、主に売上管理や商品の登録などの裏方的な仕事を担当しています。列車の車内販売を長く経験していた自分にとって、駅ナカ商業施設の運営は全く異なる分野での仕事となり、日々勉強の毎日を送っています。



現在の仕事に就いたきっかけ

子どもの頃から列車が好きで、それがきっかけで観光の分野に興味を持っていました。大学でも観光コースを履修し、大学院でも観光の分野の研究をしていました。ずっと観光を勉強していた自分にとって、観光関連の仕事をする事しか考えられませんでした。

就職活動では旅行業界や鉄道業界を中心に受験していました。そして、NREと旅行会社からほぼ同じタイミングで内定をいただきました。そして考えた結果、自分がこの道を進むきっかけになったのは列車であり、列車と直接関わって仕事がしたい、

さらに食べ物も好きだったので、列車と食べ物の両方を扱う会社はここしかない、ここで駅弁の開発などもしてみたいと思い、入社を決めました。

仕事の魅力

駅という旅の出発地でもあり、終着点でもある場所での仕事を通して、自分もお客さまも旅の思い出の一場面を演出できることです。そして、お客さまの反応がすぐに感じられるということが魅力です。

一番の思い出は入社2年目に仙台へ転勤した時のことです。ちょうどその時に「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」という、JRグループと地元が一体となった大型観光キャンペーンがあり、全国から多くのお客さまが宮城にやってきました。そして、その一環でSL列車が運行されました。その中で私は車内販売を担当しました。その時しか走らない記念すべき列車に期待して、お客さまが遠くからわざわざ乗りに来ました。そこで記念グッズを販売したのですが、お客さまは本当に楽しそうに満足されました。私自身も仕事が終わった時は達成感を感じ、大型観光キャンペーンを盛り上げるために貢献することが出来て嬉しかったです。

今後の目標・夢

目標は2つあります。
まずは現在のecuteの仕事を通して駅



ナカ商業施設について学び、学んだことをNREに戻った時に活かし、新しい駅ナカ商業施設の開業の際の力になることです。

もう一つは3年後に北海道新幹線と北陸新幹線という2つの新幹線の開業が予定されているので、その開業に関わることです。

それぞれの目標のためにもecuteでの仕事は修行の期間だと思い、取り組んでいきたいと思っています。

在校生へのメッセージ

大学時代に何か一つ打ち込めるものを見つけてください。それが将来の道へ繋がると思います。それが仕事に結びつくこともありますし、結びつかないこともあります。でもその時の取り組みが無駄になることはありません。そのために有意義な大学生活を送ることが大切です。

Profile

■ みねぎし・えいたろう

文化情報学部2004年度卒業生。
大学院 現代情報文化研究科 2006年度修了生。